

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	沖縄県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	南風原町立翔南小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	3	1	14	25
児童数	78	82	79	81	75	83	1	479	

研究の概要

1. 研究主題

自らのよさを発揮し、進んで学習する子の育成  
 ~ 少人数指導を取り入れた指導方法の工夫・改善 ~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

\* 1～6年生・算数科  
 ・ 各学年ごとに習熟すべき内容が多く、習熟の差が学年を追うごとに大きくなりやすい教科である。  
 ・ 達成度テストを分析し、正答率の低い領域、特に定着させたい領域(数と計算)を習熟度別指導を実施する。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 習熟度別指導による少人数指導を取り入れた指導体制の確立 研究の見通し 初年度であるため、「学力向上フロンティア事業」の趣旨の共通理解とともに、年間指導計画の作成や指導体制の確立を図っていく。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸テストの結果分析や日常の教育活動を通して、児童一人一人の実態把握の方法を工夫する。</li> <li>・ 一人一人のよさや可能性を生かす評価と指導のあり方の工夫をする。</li> <li>・ 児童が自ら課題意識をもち、自力解決していけるような展開の仕方や授業の手立ての工夫をする。</li> <li>・ 児童一人一人に基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、少人数指導、T・T指導のあり方を研究する。</li> <li>・ 年間指導計画における評価計画を見直し、指導方法の工夫をする。</li> </ul>
--------	---

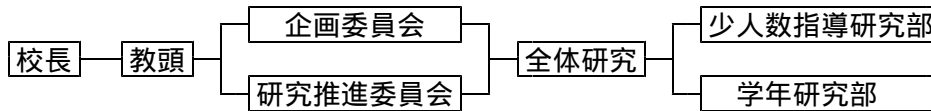
平成16年度	<p>テーマ 特色ある少人数指導による授業の充実と工夫</p> <p>研究の見通し 15年度の成果と課題をもとに、指導方法の工夫・改善を継続していく。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数指導による授業の充実のため、教材の開発と指導方法の工夫・</li> </ul>
--------	---

改善に努める。

- ・ 学習支援ボランティアの活用と個に応じた指導の充実に努める。
- ・ 教科担任制の拡大・充実に努める。
- ・ 指導体制を確立する。
- ・ 指導と評価の一体化をさらに進める。
- ・ 補足的学習と発展的学習の充実に努める。

### (3) 研究推進体制

#### \* 研究の運営組織図



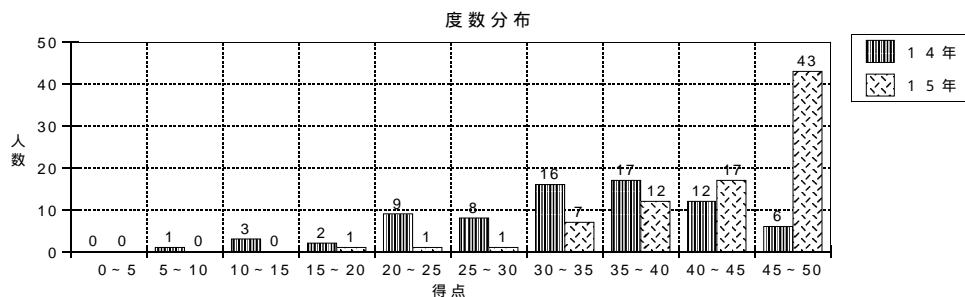
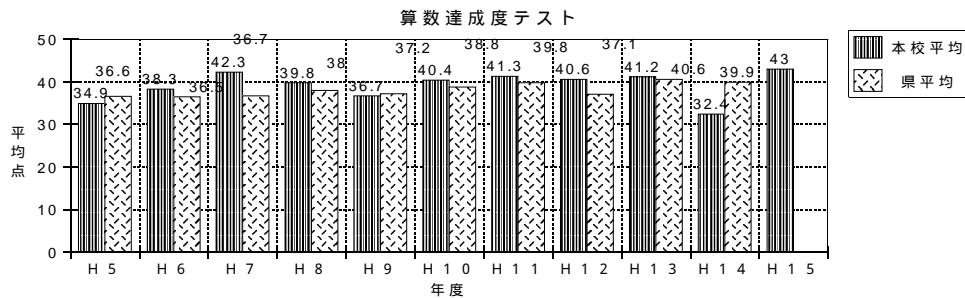
\* 校内研修と一体化した取り組みを行った。

\* 少人数指導打合せ会 { 校長・教頭・教務・加配3名 } を月1回実施した。

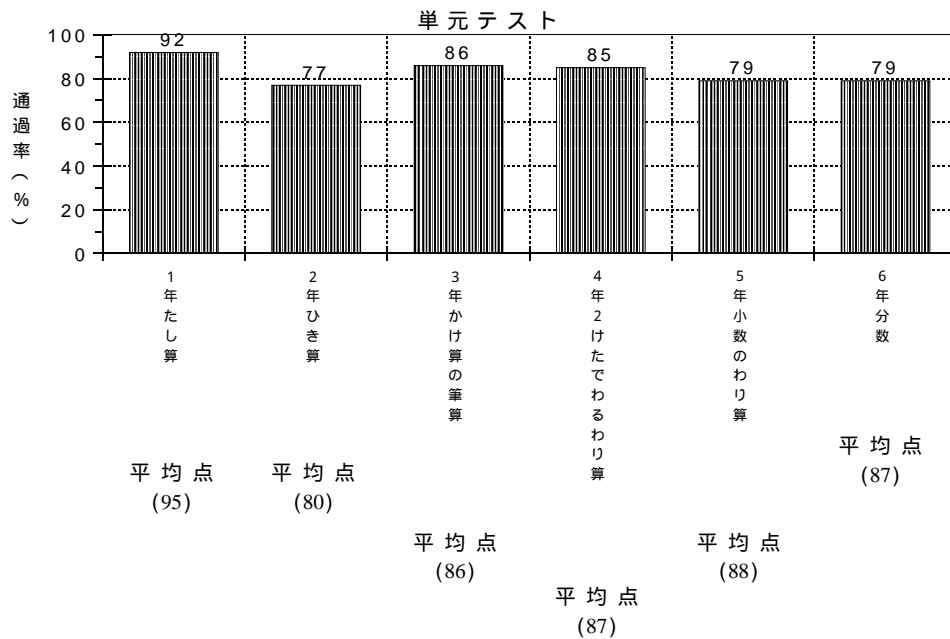
### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

- ・ 達成度テストの算数科において、40点以上の達成者が24%から73%にアップした。(昨年度は基礎学力検査)



- ・ 各学年の単元テストにおいては、80点以上の達成者が3つの学年で80%を超え、平均点は、全学年で80点を超えた。



- ・ 教材の工夫・改善が図られた { 補充的問題・発展的問題等 }
- ・ 保護者や大学生の学習支援ボランティアを活用できたことで、教師が個に応じた指導により集中できるようになった。

## 2. 今後の課題

- ・ 限られた時間の中で、少人数加配の3名相互や各学年との共通理解や教材研究をさらに深める必要がある。
- ・ 学校の取り組みについて、保護者・地域への理解に努める必要がある。
- ・ 継続的な取り組みを続け、国語科や他の教科にも広げる。
- ・ 授業で学んだことの定着度を高めるため、翔南T・Tや学びっ子タイムを利用しての繰り返し学習を徹底させるとともに、家庭学習の充実に努める。
- ・ 開発された教材・教具を継続して利用する方法を確立する。
- ・ 少人数指導を実施するうえで、教室や机・イス等の整備がさらに必要である。

## 学力等把握のための学校としての取組

- \* TK式領域・観点別学力検査  
学力の定着状況を捉えるため、2～6年生において、国語科・算数科のテストを5月に実施した。
- \* TK式観点別到達度学力検査  
学力の到達度状況を捉えるため、全学年で国語科・算数科のテストを2月に実施する。
- \* 基礎学力検査  
学力の定着状況を捉えるため、3～5学年において、国語科・算数科のテストを12月に実施した。
- \* 達成度テスト  
学力の定着状況を捉えるため、6年生で国語科・算数科のテストを12月に実施した。
- \* 南風原町検定テスト  
形成的評価として、全学年で国語科・算数科のテストを年間5回実施する。
- \* 計算ずもう  
算数の計算力アップを図るため、授業開始時の5分間を利用して100マス計算等を時間を記録しながら実施している。

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- \* 研究授業を実施する際に、町内の幼稚園・小学校・中学校の先生方に参観を呼びかけた。
- \* 近隣町村の教育委員会や小学校の先生方に、習熟度別による少人数指導の授業を公開したり、資料請求に応じて指導案や指導計画等を配布した。
- \* 10月1日島尻地区学力向上協議会を兼ね、学校訪問、及び2年生の公開授業を実施した。
- \* 11月の授業参観日に合わせて、これまでの取り組みの成果について中途公開を行った。
- \* 2月の「翔南学びフェスタ」において、学力向上対策の成果の公表を行う。
- \* 研究成果を載せたホームページを準備中である。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有